

心の健康と自殺予防呼びかける

大切な命を守る活動
傾聴ボランティアえくぼの会と市職員が自殺予防のキャンペーンを実施しました。これは3月の「厚生労働省自殺対策強化月間」と3月1日の「秋田県いのちの日」にちなみ、グランマート田沢湖店、タカヤナギワンダーモール店、よねや角館店の協力をいただき店頭で行われたものです。スタッフは、パンフレットなどを配布し、心の健康と自殺予防を呼びかけました。



2月28日、店頭で買い物客に心の健康と自殺予防を呼びかけました。

大学生が除雪ボランティア

住民との交流図る
昨年11月に青山学院大学と仙北市が包括連携協定を締結した縁で、2月22日から26日まで、同大学の学生など10人が仙北市を訪れました。一行は農家民宿などに宿泊し、高齢者宅の除雪ボランティアに汗を流しました。また、武家屋敷を散策したり、田沢湖高原雪まつりを見学したり、地元住民と交流を図りながら、北国ならではの冬の暮らしづりを体験しました。



高齢者宅の軒下を除雪する学生の皆さん。市では今後も交流の輪を広げながら、お互いの連携を深めていく企画を考えています。

近未来技術を活用しビジネスを生み出す
秋田ドローンコミュニティと連携協定
昨年6月に思い出の湯分校で開催したドローン教室の受講生を中心に設立された団体「秋田ドローンコミュニティ」と仙北市が近未来技術活用（ドローン）による賑わい創出や人材育成、観光振興などを目的とした連携協定を締結しました。2月24日、田沢湖庁舎で行われた締結式には、門脇市長と秋田ドローンコミュニティの宇佐美孝太代表、立会人の青柳宗五郎市議会議長が出席し協定書に調印しました。門脇市長は「ドローンの知識と技術を持つ人々をサポートし、最先端技術を活かしたビジネスを生み出したい」とあいさつ。宇佐美代表は「ドローンを活用した地方創生がしたかった。全国各地のドローン特区を回った結果、仙北市を選んだ。決め手は『人』。サポート体制のよさとドローン教室に集まった人の協力で輪が広がっていった。これからは恩返しの気持ちで活動していきたい」とあいさつしました。



秋田ドローンコミュニティの代表を務める宇佐美孝太さん（中央）は、株式会社スカイヤーを設立し、鳥取県を拠点に活動しています。連携協定を締結後、飛行するドローンを見つめながらつちりと握手を交わす門脇市長、宇佐美代表、立会人の青柳宗五郎市議会議長（左から順に）。



スリル満点のけつちぞり大会。
会場を盛り上げたご当地キャラクターたち。
多数の屋台も出店。連日賑わいました。



地元雪像職人チームが制作した迫力満点の龍の雪像。

第46回田沢湖高原雪まつり
2月25日、26日の2日間にわたり、たざわ湖スキー場特設会場で「第46回田沢湖高原雪まつり」が開催されました。会場には、地元雪像職人やボランティア、県内外の学生たちが数日間かけて制作した精巧な雪像が多数展示されたほか、人気の「けつちぞり大会」や「えあもーぐる選手権」などのイベントが行われました。26日には「ご当地キャラクター大集合」が行われ、家族連れなどで賑わいました。また、「ミニスキーワールドカップ」も同日に開催され、競技を楽しむ参加者が盛り上がりました。

仙北市総合美術展



2月7日から19日まで角館町平福記念美術館を会場に第6回仙北市総合美術展が開催され、市内で芸術活動をされている一般の方などから出品された絵画や書、短歌・俳句、写真、工芸、手芸の作品150点が展示されました。開催初日にはオープニングセレモニーが行われ、出品者や関係者など約40人が集まり、それぞれの作品に見入っていました。



寄付されたマスク。

事故の再発防止を願い 防毒マスクを寄付
一昨年発生したカラ吹き源泉事故でお亡くなりになった方々のご遺族、柴田圭一様、羽根川カツ子様、坂本ユリ様、坂本誠様より、温泉管理業務の事故防止に活用してもらいたいと、市に防毒マスク10個を寄付いただきました。今後、マスクは安全に作業を行うため有効に利用させていただきます。



門脇市長（左）から白寿を迎え、花束を受け取る草薨與惣左エ門さん（右）。

白寿のお祝い

2月24日、田沢湖卒田にお住まいの草薨與惣左エ門さんが白寿を迎えられました。草薨さんは「好き嫌いなく何でも食べることで、適度に身体を動かすこと」が、長寿の秘訣と話しました。



園児たちに交通事故に遭わないために気をつけることを呼びかける交通安全母の会の皆さん。

仙北市交通安全母の会 交通安全教室

仙北市交通安全母の会（草薨良子会長）が2月20日から22日まで、市内の保育園、幼稚園、認定こども園で、4月から小学校に入学する児童を対象に交通安全教室を行いました。リーフレットや模型を用いて、急な飛び出しをしないことや通行車両をよく確認しながら横断歩道を渡るなど、交通事故防止のための呼びかけをしました。これから新入学・入園シーズンを迎えますが、市民の皆さまも交通事故防止にご協力をお願いします。

元気なふるさと秋田づくり顕彰事業 抱返り紅葉祭実行委員会が受賞



3月2日、市役所田沢湖庁舎に受賞報告に訪れました。右から一般社団法人田沢湖観光協会会長の佐藤和志会長、同協会事務局の眞崎瑞穂さん、抱返り紅葉祭実行委員会の高橋達代表、門脇市長、倉橋副市長。

地域づくり活動に顕著な功績のあった団体を表彰する仙北地域振興局の「元気なふるさと秋田づくり」顕彰事業の表彰式が2月27日、同振興局で開催され、「抱返り紅葉祭実行委員会（高橋達代表）」が表彰を受けました。この事業は、同振興局が地域づくり活動に取り組む団体・個人を毎年表彰しているもので、今年度は管内の6団体が受賞しました。

抱返り紅葉祭実行委員会は、昭和32年に設立。以来、観光産業の活性化や地域振興を目的に「抱返り紅葉祭」の運営を地元集落が手掛け、59年間にわたりに開催してきました。また、溪谷の美しさを広く市内外へ宣伝し、広域観光の拠点として、県立自然公園のイメージアップを図るなど、元気づくりの取り組みが高く評価されました。

角館雛めぐり

2月18日から3月12日まで、角館町の観光施設などで40か所以上で雛人形を飾る「角館雛めぐり」が開催されました。雛めぐりは、現在まで伝わる享保雛や古今雛、角館押絵や土人形などを展示。スタンブライヤーやガイド付きのツアーなども行われ、多くの訪問者を楽しませていました。



開催初日、仙北市商工会角館本所「かつらぎ」でオープニングセレモニーが行われ、子どもたちによる手踊りの披露や来場者に餅や甘酒が振る舞われました。

仙北市民スキー大会

第12回仙北市民スキー大会が、2月26日にたざわ湖スキー場で開催されました。大会成績は次のとおり。各種目1位選手（敬称略）

【アルペン】▼1年女子大回転B 伊藤愛莉 ▼同男子 藤原遙人 ▼2年女子大回転B 高橋りのあ ▼同男子 菅原雅人 ▼3年女子大回転B 伊藤真実 ▼同男子 田村遼 ▼4年女子大回転A 田中結衣 ▼同男子 藤田賢生 ▼5年女子大回転A 高橋あめり ▼同男子 石塚康平 ▼6年女子大回転A 千葉麗花 ▼同男子 田中恒清 ▼中学女子大回転A 佐藤凛 ▼同男子 齋藤千輝 ▼一般女子B 田村

生子 ▼同男子 藤川悟志 ▼同C 齋藤博栄

【クロスカントリ】▼1年男子1.2 K 齋藤航志 ▼2年男子1.2 K 佐藤亮汰 ▼3年女子2 K 木元陽南美 ▼4年女子2 K 佐々木栞奈 ▼同男子 藤村康太 ▼5年女子2 K 荒澤愛凛 ▼同男子 遠藤卓 ▼6年女子2 K 若生美空 ▼同男子 鈴木勇太郎 ▼一般男子C 2 K 猪本吉成 ▼同B 千葉一樹 ▼中学女子4 K 佐々木花純 ▼同男子 千葉駿 ▼リレー 小学男子「神代XC A（佐藤、佐々木、布谷）」▼同女子「神代カールズ 荒澤、佐々木・樋口」▼同中学男子「生保内中（樋口・島山・千葉）」▼同フアミリー「チームSYM（石塚・鈴木勇・鈴木雅）」

河正雄文庫特別展

現在、田沢湖図書館で「河正雄文庫特別展」が開催されています。「河正雄文庫」は、河正雄氏が故郷として愛するまちに寄贈した図書から始まり、田沢湖図書館が新築された昭和57年2月に開設されました。以来、河氏からは毎年多くの図書が寄贈されています。2月25日の特別展オープニングセレモニーには河氏の同級生や関係者など約60人が集まりました。河氏は「秋田の自然に感動し、絵を描いたら素晴らしいと褒めてもらったことが、私の美術の出発点。原点はここにある。皆さんにこうして会うことができうれしい」と話しました。



自身が描いた絵画「五元」について解説する河正雄氏（正面）。特別展は今月26日まで開催しています。河氏から近年寄贈された韓国語書籍や絵画などを展示しています。

第40回消防職員意見発表会秋田県大会 大曲仙北広域消防本部が最優秀賞

2月10日、第40回消防職員意見発表会が秋田市で行われ、大曲仙北広域消防本部の茂木雄大さん（旧仙北町出身・大曲消防署東分署所属）が最優秀賞に輝きました。茂木さんは「燃焼実験を活用した避難訓練」と題し、この避難訓練によって参加者に意識改革をもたらしたことを強く訴えました。今後は、4月26日に新潟市で開催される東北大会に県代表として出場します。



門脇市長に受賞報告に訪れた茂木さん。

茂木さんは「東北大会までさらに精度を高め、上位を目指して頑張りたい」と力強く話しました。

第31回柔整旗争奪 全県小中学校柔道大会

2月26日、第31回柔整旗争奪全県小中学校柔道大会が秋田市の県立武道館で行われました。県内の小中学生が団体戦で熱戦を繰り広げ、小学生の部では、角館柔人クラブが3位、中学生の部では、角館中学校が3位に入賞しました。優秀選手賞には、福島誠之介くん（角館小5年）と後藤善春くん（角館中2年）がそれぞれ選ばれました。



上位入賞を果たした角館柔人クラブと角館中学校の選手皆さん。